

光勝晩鐘

けふも暮れぬ あはれ幾世をふる寺の
鐘やむかしの音に響くらん

その昔、白井村の夕暮れ時に、光勝寺で撞く梵鐘の音は、殷々として湖岸に響き渡り、その鐘声は里の人々に日暮れの時刻を知らせるとともに村人に心の安らぎを与えていた。

今日も日が暮れて光勝寺の鐘が鳴っている。幾年月を経た古寺であるが、鐘の音だけは今も昔のままに響き渡っている。

と、歌の作者は湖畔の夕景を詠んでいる。

選文 立原 三知男